

# SELF- KNOWLEDGE TOOL

Vol.1

-自己分析編-

# CONTENTS

## 01

### INTRODUCTION

- 01 実施背景
- 02 セプテーニグループの人材育成理論
- 03 自己分析の重要性
- 04 個性タイプの分類方法

## 02

### あなたの個性・適性

- 01 4タイプの分類
- 02 あなたの個性タイプ
- 03 学生時代の傾向
- 04 適性のある職種
- 05 相性の良い環境（入社後の傾向）

## 03

### 自己分析の進め方

- 01 自己分析について
- 02 就活スケジュール計画について

## 04

### コミュニティ分析

- 01 周囲の個性タイプは？
- 02 自己分析の深め方
- 03 成果の出やすいコミュニティの特徴

## 05

### 今後のサービスについて

# INTRODUCTION

こちらの章ではまず初めに、  
弊社独自の自己分析ツールの理  
論と使い方について説明します。

Chapter

1

# INTRODUCTION

## ：自己分析ツールについて

### 01 なぜこの自己分析ツールを提供するのか？ 活躍できるキャリアにつながるサポートを多くの学生へ

セプテーニグループでは、「育成方程式」という概念に基づき、人材育成の構成を科学する取り組みを行っています。

その結果、働く上で個性に合ったワークスタイルが存在することや就活中の行動量と入社後の成長に関係性が見られないことが統計的に明らかになりました。

現在、多くの学生が就職活動について悩みをかかえ、その対策に膨大な時間がかかっています。さらに、地方在住の方々には、時間、コスト、情報等様々な面での制約があると言われています。

そんな現状に対して、セプテーニグループでは、わたしたちの取り組みを知っていただいたこれから就職活動に臨む学生の方々全員に向けて、科学的・合理的な観点での就職活動のキャリア形成を実現するサポートを提供したいと考えています。

その一つとして、この「効果的な自己分析」を行うツールを提供します。

### 02 独自の理論と技術 セプテーニグループの人材育成について

セプテーニグループでは、社員一人ひとりのパフォーマンスを最大化することを目的とし、人材育成について約5年前から研究活動を行っています。

その中で人材育成の概念を、「人を育てる」ではなく「人は職場で良質な経験を重ねることで“育つ”」ものであり、それを科学的に測定・評価する取り組みであると定義しています。

2014年度からは、その取り組みにより得た技術を採用活動にも応用しています。

前述の「育成方程式」という概念では、個々人が生まれ持った個性と、その人を取り巻く環境が相互作用することによって、その人の成長に大きな影響を与えていると考えています。

つまり、職場にある環境（E）をチーム（T）および仕事（W）と定義し、その2つの要素と本人の個性（P）との相性が高いほど、大きな成長（G）につながる可能性が高くなるという考え方です。



03 なぜ自己分析は必要なのか？

働き方が変容し、キャリアが多様化していく中で、自分の個性に合った環境を選んでいくことはとても重要になってきます。自分自身がどのような個性でどのような価値観を持って今まで過ごしてきたのか、このことを理解していないと、どれだけ企業や仕事の情報を集めたとしてもその中で自分の強みを活かして活躍できる環境がどういった場所なのか見つけることができません。

また、就職活動に臨むときにも、自分の考えていることを相手に上手く伝えることができません。そのため、これから就職活動に臨む皆さんには、自分の個性を認識した上で自分の納得する環境を見つけてもらいたいと考え、短時間で効果的に自己分析を行うことができるツールをご用意しました。

この自己分析ツールでは皆さんに受検していただいた個別的特性診断の結果をもとに、セプテーニグループの独自のテクノロジーを駆使し、皆さんの考え方や行動のパターン、意思決定の基準、就職活動における傾向を導き出しています。

自己分析を深める上で、個別的特性診断の結果は一つの参考指標になると思います。この結果を踏まえて、これまでの学生生活や自分の人生を振り返ってみてください。自分自身の個性を理解することで、自分の個性に合う環境はどういった場所なのか具体的に考えを深めていくことができるでしょう。

04 個性タイプの分類手法

皆さんに受検していただいた個別的特性診断は、組織の最適化を支援する会社である「株式会社ヒューマンロジック研究所」が提供するFFS診断を用いています。FFS診断は、FFS（Five Factors & Stress）理論をもとにしており、一人ひとりの思考行動特性が5つの因子（凝縮性、受容性、弁別性、拡散性、保全性）の強弱やバランスで表現されます。各因子のスコアは0～20まで21段階あるため、約408万通り（21の5乗）の個性が存在します。

今回の自己分析ツールでは、「未来創造型」「課題解決型」（拡散性と保全性のバランス）と、「論理型」「直観型」（弁別性と他の因子のバランス）の二軸で分け、4つの個性タイプに分類しています。

4タイプそれぞれが異なった思考行動特性を持ち、皆さんの個性に合わせて短時間でスムーズに自己分析を行うポイントを記載しています。

また、このツールでは自己分析だけでなく、就職活動におけるさまざまなシーンにおいて、個性ごとに適した就職活動の進め方を提案しています。自分の結果を周りの就職仲間と共有することで、さらに自己分析を深めていくことにも繋がるでしょう。このツールが皆さんの就職活動の一助になれば幸いです。



## あなたの個性

ここからはあなたがどんな個性タイプなのかをお伝えするとともに、個性タイプの特徴、学生時代や就職活動における傾向などについてご説明します。

客観的な情報をもとに効率的に自己分析を深めていきましょう。

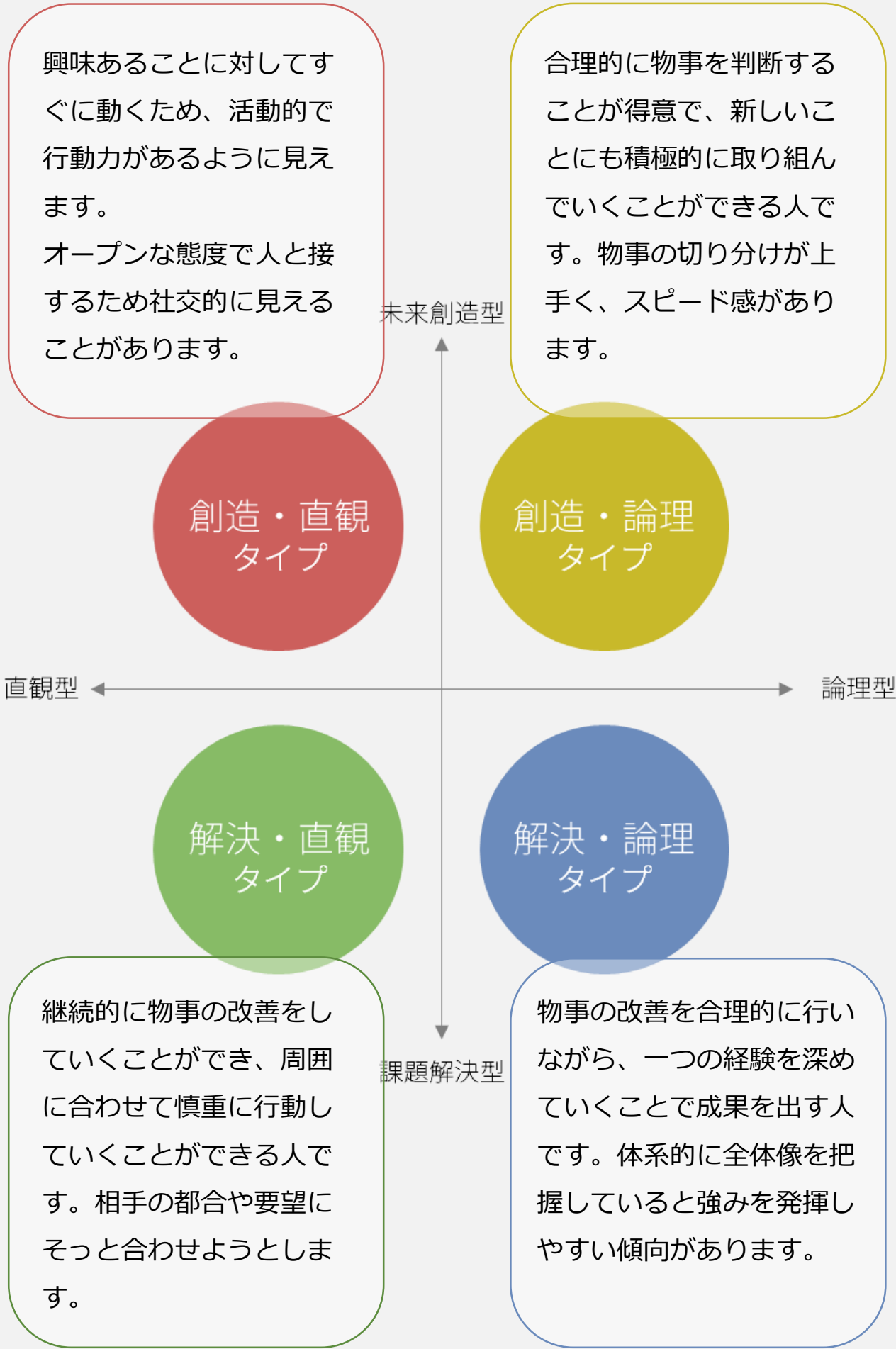
Chapter

2

# 個性タイプ解説

## 01 4タイプの分類について

4タイプごとにそれぞれ異なった思考行動特性がある  
ということを前述でもお伝えしました。  
まず、その4タイプの簡単な特徴を説明します。





## 02 あなたの個性タイプについて

個別的特性診断をもとに導き出されたあなたの個性タイプは、

**解決・直観タイプ**です。

このタイプは、継続的に物事の改善をしていくことができ、

周囲に合わせて柔軟な行動ができる人です。

相手の都合を理解し、周囲の意見を尊重するので、聞き上手な一面があります。



### タイプの特徴

現状を継続しつつ、改善を積み上げていくことが得意なタイプです。良いものを残しつつ、悪いものを改善しながら目標を達成していきます。興味のあることを極めることに積極的です。

新たな情報に対して、物事の全体像を理解し、計画性を持って取り組むことができます。

その中で、基本的な内容から順を追って確認していこうとします。何か問題があったときにも、継続的に工夫改善していくことが得意です。

期待されれば、期待された以上の結果を出そうとがんばり、人を喜ばせるためには努力を惜しまないタイプです。

### ネガティブな状態になると

相手に指示を出す場合、まず、自分がある程度全体像を把握するまでは、人に任せることができず抱え込んでしまいがちです。

順調に進んでいる場合でも心配になりやすく、何度も確認してしまいます。

範囲をつかめないまま新しいことをやろうとすると、今までのやり方で何とかしてしまおうとします。

何も決まっていない状態で、一から自分で作り上げることは苦手なタイプです。

やり方やルールが明確になっていないと不安になります。

相手がどう思っているのか、反応を伺って自己主張をあまりしません。自分の考えたアイデアや発言を否定されるとひどく落ち込みます。

### 口癖

「このまま様子を見ましょう」「無難」「安全に」「確実に出来ることから」



ここからは、セプテーニグループの応募者データベースをもとに、個性タイプ別にみられた「学生時代における傾向」を解説していきます。

## 03 学生時代における傾向

解決・直感タイプの、日常生活や学校生活における特徴を解説します。  
これまでのあなたの過去を振り返り、該当するところがないか  
思い返してみましょう。



### 【学業や勉強】における特徴

周りの人やその人の考え方、自分のいる環境から多く影響を受けます。

集団行動では、周囲の意見を尊重して合わせることが多いでしょう。  
部活や進路を決めるときには、自分ひとりだけでは決めません。  
家族や友人に話した上で、周りからの後押しがあると、自分の考え  
に自信を持ち安心して決めることができます。

グループにおいては調整役としてのポジションを取り、副部長、副  
代表など一歩引いた立場の役割でチームに貢献することが多いで  
しょう。

テスト勉強などでは、先のことを見通し、計画的に勉強のスケ  
ジュールを組みます。

地道な努力によって成果を出すことができます。

人と話すことが好きで、聞き上手であるため、何か話し合いをして  
いるときには

「なるほど」「確かに」と同調する言葉をよく使います。



### 【人間関係】における特徴

穏やかで仲間に平和的に接するタイプなので喧嘩をしたり、人と言  
い争うという経験はほとんどないでしょう。

相手を喜ばせたい、役に立ちたいという思いが強いので、相手にお  
願い事をされると断れません。

周りの人の気持ちに敏感で、相手がどう思っているのかを優先して  
考えます。

自分の役割をしっかり果たすので感謝されることが多いでしょう。

## 04 適性のある職種について

解決・直感タイプの方は、「まず、じっくり様子を見る」「相手の状況に合わせて提案を行う」というような働き方が得意です。ここでは、それぞれの思考行動特性をもとに、当社における適性のある職種の特徴を解説します。

職種ごとに見受けられる傾向から、自分の個性に合った働き方を理解しましょう。



### 【営業職】における特徴

営業職においては、お客さんの持つ課題を最初に聞き出し、解決策を提案していくことがあなたの最初の仕事となります。

また、周りの人に対しても自分のやりたいこと、目標を明確に示して、協力を仰ぐことで成果に繋がる行動ができるでしょう。独りよがりにならないように周りを巻き込んでいくようにコミュニケーションを取っていくことが重要です。

自分がお客さんにする提案によってどんなことが起こるか、どんな結果になるかをしっかりイメージし、そのイメージを崩さないように具体的な形にしていくことが必要になります。



### 【コンサルタント職】における特徴

コンサルタント職においては、お客さんの持つ課題を解決するための具体的な方法を考えるのが仕事になります。お客さんと密にコミュニケーションを取り、相手の要望を把握することを心掛けましょう。

また、課題解決には専門的な知識があるほうが説得力が上がりやすく、成果も出やすくなります。いきなり専門家になる必要はありませんが、業界や業務における重要なポイントについてはしっかり把握しておくようにしましょう。



### 【クリエイティブ職】における特徴

クリエイティブ職においては、お客さんの何らかの課題を解決するためのモノを作ることが求められる仕事です。自らの思いを主張するだけでは周囲は動いてはくれないので、自分の思いをどのように相手に伝えるのかを意識することが重要です。

また、あなたが作りたいモノと、お客さんが望むモノは異なる可能性があるので、作り上げていくものの方向性は常に明確にしておきましょう。

お客さんの求めていることは何かをしっかりと話を聞くことで、自分の思いや考えを深めながら、自らのクリエイティブに反映させていくことを意識しましょう。



## 【研究職】における特徴

研究職においては、「緻密」に研究開発に取り組む傾向があります。従って、与えられたテーマを確実に検証を繰り返して、ゴールに到達するような動きになります。自分に任された業務に関して責任を持って取り組むため、任された範囲での精度は高いものの、大雑把に仕事を任されるとそこから幅を広げていく発想は弱い可能性があります。また、「誰かのため」に研究開発に取り組む傾向があります。周囲の期待に応えるべく多大なタスクを持つ羽目になってしまい、周囲の気持ちを受けいれ過ぎて、中途半端になってしまうこともあります。基礎研究よりも、応用研究や開発の方が向きやすいです。



## 【コーポレート職】における特徴

コーポレート職においては、何事もまずは前例を踏まえた上で、少しずつ確実に改善していこうとします。従って、ルーチンで決まっている業務であれば確実に改善を仕上げていきますが、急激な変化を求めると、逆に反体制となる可能性もあります。また、柔軟でお世話好きのため、何事にも対応出来ます。ルーチンなものから新たなプロジェクトまで、状況を調整して効率よく進めてくれます。ただ、自分に余裕がなくなってしまうと、相手に対して感情的になってしまい、業務や人間関係にも影響を及ぼしてしまう可能性があります。

## 05 相性の良い環境について（入社後の傾向）

ここでは、皆さんが仕事をするときに、強みを発揮して活躍できる環境はどのような環境なのか、相性の良い環境についてご説明します。

### ＜組織・チームの相性＞

あなたと相性の良い組織・チームは、物事を直感的に判断して行動する直観タイプが多い環境が良いでしょう。

直観タイプの人「とりあえずやってみよう」とまずは行動して実践するスタンスが良いと考える傾向にあります。あなた自身も、その仕事の体験を通して学び、パフォーマンスを上げていくことができます。

### ＜上司・トレーナーの相性＞

あなたと相性の良い上司・トレーナーは、個性タイプの同じ解決・直観タイプの人でしょう。

個性タイプが同じ場合、話を聞きやすく、仕事の進め方が真似しやすいスタイルなので、より早く仕事を習得することができ、パフォーマンスの向上が期待できます。

【解決・直感タイプ向け】

## 自己分析の進め方

---

これまで、皆さんの個性タイプの特徴について詳しくご説明してきました。

ここからは、実際に、自己分析のアウトプットや自己PRの作成に役立つように自己分析を深めていきましょう。

自分の個性を認識した上で取り組むことで、短時間で効率良く進めることができるでしょう。

Chapter

3

# 自己分析

：実際に自分を理解しましょう

## 01 自己分析について

自己理解の重要性についてはChapter1でお伝えしましたが、働き方が変容し、キャリアが多様化していく中で、自分の個性に合った環境を選んでいくことはとても重要になってきます。

エントリーシートや面接では、「学生時代に力を入れたこと」について質問されることが多いです。振り返っていく中で、「なぜそれを頑張ったのか」「周りにはどんな人がいたか」「その経験からどんなことを学んだのか」といった項目ごとに深掘りしていきましょう。そうすることで、漠然と考えていた自分らしさがより明確になるはずです。

自己分析は、職業・会社選びやエントリーシートを記入するためにも必要になってくるので、スムーズに行いましょう。このワークでは、項目ごとに個性タイプに合わせて想定される思考や行動を記載してありますので、自分の個性を意識して取り組んでみてください。

### 【解決・直感タイプ】タイプの 自己分析におけるポイント

物事の工夫改善が得意な「課題解決型」であり、また物事に対して感覚的、感情的にとらえる「解決・直観タイプ」タイプのあなたは、自己分析においては、皆が求めている人材を自分に投影して、本当の自己の強みを理解していない可能性があります。

一方、エントリーシートでの自己PRや面接では、客観的に自分をとらえられているか、話がまとまっているかなどを見られることがあります。

次ページ以降を実践してみることで、自身の強みや弱みを効率的に理解し、  
自分にあったエピソードを見つけてみてください。

## 02 個性タイプごとの自己PRについて



まず自分の特徴を改めて把握しましょう。  
解決・直観タイプは以下のような傾向が見られます。

### Ⅰ 強み

- ✓ 物事の全体像を理解し、計画性を持って取り組むことができる
- ✓ 目標に対して長期的に継続して行動する力がある
- ✓ 相手の都合を理解し、柔軟に考え方を変化させることができる
- ✓ 周りの期待に応えるために、自分が任されたことは責任感を持って取り組む
- ✓ 直感的に物事を判断するので、その場の雰囲気に合わせて行動できる

### Ⅰ 弱み

- ✓ 相手の反応を伺うあまり、強く自己主張ができない
- ✓ 道筋やルールが明確になっていないと取り掛かりに時間がかかる
- ✓ 相手の考え方や感情に合わせすぎて、周りに意見を流される
- ✓ 受け身の姿勢でいることが多く、自分から進んで行動しない



## 学生時代取り組んだことの傾向

エントリーシートや面接では、主に学生時代に取り組んだこと、またその中でどのような役割を担ったかなどのエピソードが必要になってきます。


このエピソードは個性に合ったものであれば良いのですが、個性に反したものになると途中で辻褄が合わなくなったり、無理をして話をしないといけなくなります。自身の経験を話すわけですので、自分らしいエピソードを用意し、スムーズに話を展開していく必要があります。

以下は、セプテーニグループの応募者データベースの中から、「解決・直感タイプ」タイプの学生が取り組む傾向にあるエピソードを抽出したものです。

### 解決・直感タイプが学生時代頑張ったことの傾向

#### こんな経験をしませんでしたか？

- 学生生活の中でのイベントや行事では、サポート的な役割で貢献していた
- 部活やサークルなどでは、長期的に取り組んでいた
- 何か問題が起きたときには、周りの人の意見を聞き、調整することでその活動の問題点を対処していった
- 勉強や部活での課題に対して、自分なりに工夫改善を行うことで成果を出していた
- 体系的に学び、全体像を把握していくことで、目標達成に向けて努力していた

 あなたの経験の中で、近しいエピソードはありませんか？  
それがあなたの強みを上手く表現することができるエピソードです。



# SELF-KNOWLEDGE TOOL

解決・直感タイプの個性を踏まえた自己PRの具体例

※オレンジ色の下線部は個性の特徴を強く表すポイントです

## 例①

私は、中学校から大学までの10年間、〇〇の部活を続けていた。大会で勝つためにはどうしたらいいか、自分の課題を定期的に振り返り、改善していけるように努力した。その結果、中学3年生から大学までの間は部活の中でレギュラーになることができた。

## 例②

100人規模の〇〇サークルで副代表を務めていた。4つの部門に分かれて活動していたため、問題が起きることが多く、それぞれの部門の活動内容を把握し、調整をしていったことで文化祭でのイベント成功につながった。その後も連携が取れるように話し合う機会を設けるように提案したことで、サークルの団結力があがった。

## 例③

もともと英語が好きだったこともあり、大学時代にTOEICの勉強に注力した。始めは500点台だったが、毎日通学時に英語の勉強をすることを決め、英語の記事を読んだり、リスニングを力を身に付けるために英語のニュースを聞くなど3年間TOEICの試験を受け続けた。その結果400点近く点数を上げることができた。

## 例④

塾講師のアルバイトとして〇人の高校生を担当していた。学生一人一人が持っている課題に対して、その子に合わせた勉強スタイルを考え、提案してあげることで、担当している子の成績が少しずつ上がっていった。最終的には、全員が志望している大学に合格することができ、学生だけでなく家族の方にも感謝されたことがやりがいとなり、大学1年生から現在まで3年間塾講師を続けている。

## 例⑤

学生時代は〇〇部に6年間所属していた。〇〇部は団体競技のため、メンバー間の意思疎通が重要だったので、常に周りを意識することを心がけ、話し合いではできるだけ多くの人の意見が出るような雰囲気作りをしていた。メンバーの意見を尊重し、周りの意見をまとめていったことにより、大会に向けて全員で協力しながら同じ目標に向けて努力することができた。

PRの言語化について

次に実際に P R ポイントを言語化する際の注意点を説明します。  
自己 P R では主に、その取り組みを始めた動機・理由、課題に対するアプローチ方法、その結果などが求められます。以下の  
フレームワークに沿ってエピソードをまとめることで、効率的  
に P R ポイントを言語化することができます。

■ P R ポイント言語化のフレームワーク



以下で、それぞれの要素に対して、あなたの個性にあてはまる  
具体的な例を紹介します。

あなたの個性にあてはまる具体的な答え

	問い（＝面接官の質問）	答え
動機・理由	<div>・なぜその活動に取り組んだのか？</div> <div>・なぜその活動を頑張れたのか？</div>	<div>・いっしょに活動している仲間や先輩など周りの人からの薦めや影響があった</div> <div>・自分が今までやってきたことが少しでも活かせるような活動だった</div>
課題・問題	<div>・その活動の中で、どんな問題・課題に取り組んだのか？</div> <div>・自分の思い通りにいかず、困った経験はなかったか？</div>	<div>・やり方や方針がわからず悩んでしまい、行動に移すのが遅かった</div> <div>・自分の考えを上手く伝えられず、自分の意思とは異なる状況になってしまった</div>
解決・対処	<div>・その課題・問題に対してあなたはどのような対処をしたのか？</div>	<div>・メンバーそれぞれの意見を聞くようにし、コミュニケーションをしっかりと取ることで問題が解決した</div> <div>・自分だけでは判断できなかったので、誰かに相談することで、解決策が見えてきた</div>
結果	<div>・対処した結果はどうだったか？</div>	<div>・いっしょに取り組む仲間が一体となり、成果を上げることができた</div> <div>・目標に向けて工夫改善していったことで、活動も上手くいくようになった</div>
得た学び	<div>・その結果から、どんなことを学んだのか？</div> <div>・どんな影響を受けたのか？</div>	<div>・活動の成功のためには、自分の考えをしっかりと伝え、周りと協力しながら取り組むことが重要だとわかった</div> <div>・課題に対して改善を継続的に行う力、計画的に考え取り組むなど自分の強みを再確認できた</div> <div>・自分がしたことで相手が喜んでくれ感謝されるとやりがいに繋がると学んだ</div>

# SELF-KNOWLEDGE TOOL

 あなたの個性にあてはまる具体的な自己PR構成を紹介

これまでご紹介した内容を踏まえ、最後にあなたの個性に合った自己PRの文章の構成例をお伝えします。

以下の構成例を踏まえ、個性に応じたキーワードを意識することで、よりあなたらしいエピソードに仕上がるはずです。

解決・直感タイプに合うキーワード： 長期的、継続する、慎重に、几帳面に、協調、コミュニケーションをとる、仲間を気にかける、直感的に、感情面で、柔軟に対応する

解決・直感タイプに合わないキーワード： 積極的に、前例のないことに挑戦、効率良く、新たな発想で、合理的に判断、論理的、事実をもとに

※一般的なエントリーシートの自己PRは200～400文字

私は大学〇年生の時に、～～（**取り組んだ内容**）に取り組み、～～（**役割**）の役割を務めました。

この取り組みを行った理由は、高校の先輩が同じ大学で薦めてくれたこともあり、安心でき、自分の経験を活かして取り組むことができると感じたからです。

その取り組みの中で、途中計画通りに進まず、～～（**具体的な問題の内容**）という問題が起りました。

その問題に対して私は、～～（**具体的にとった行動**）をするなど、メンバーの考えていることを把握し、みんなが同じ方向で進めるように定期的にコミュニケーションを取る機会を作りました。

また、～～（**具体的な内容**）していくために、引退した先輩にも相談に乗ってもらい、解決策を出していきました。

その結果、～～（**具体的な結果や、数字で表すことができる実績**）という実績を上げることができ、この経験から、目標を達成するためには、課題に対してその状況に合わせた改善策を考え、周りと協力しながら取り組むことでチームで一つの目標を達成させるやりがい学びました。

いかがでしょうか？あなたを表すエピソードとして納得いくものができたでしょうか？

このようにあなた自身の個性をしっかりと理解し、その特徴と具体的なエピソードを紐づけることで、効率的に自己PRの文章や面接での回答内容を作成することができます。

※ 当社独自の理論にもとづいた見解であり、エントリーシートの通過や就職活動の成功を約束するものではありません

 **取り組みの具体的な内容や、細かい表現などは自分なりにアレンジを加えてみましょう！**

# SELF-KNOWLEDGE TOOL

## 03 就活スケジュール計画の作成

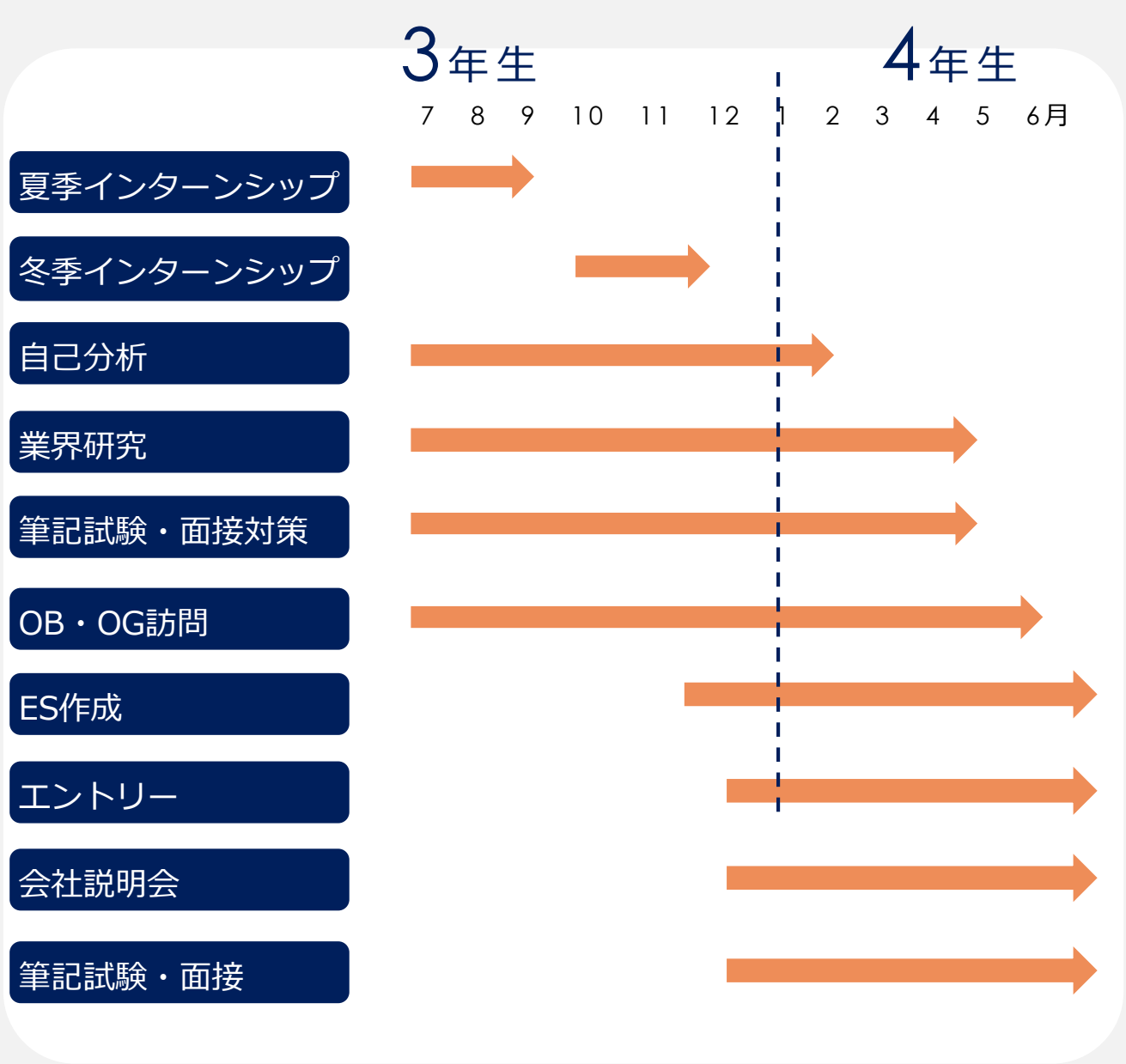
日本経団連の「採用選考に関する指針」では、3年生の3月に就活解禁となり、会社の新卒採用ページへのエントリー、会社説明会、合同企業説明会が開始されます。

そして、面接開始の時期は6月からとなっています。

しかし実際は、それ以前から選考開始をしている企業も多く、国内企業でも早い企業は3月に内々定をだしています。業界によって選考が集中する時期も異なっていますので、自分に合った就活スケジュールを考えることはとても重要です。

ここでは、一般的な就活スケジュールと皆さんの個性タイプに合った就活スケジュールをご提案します。

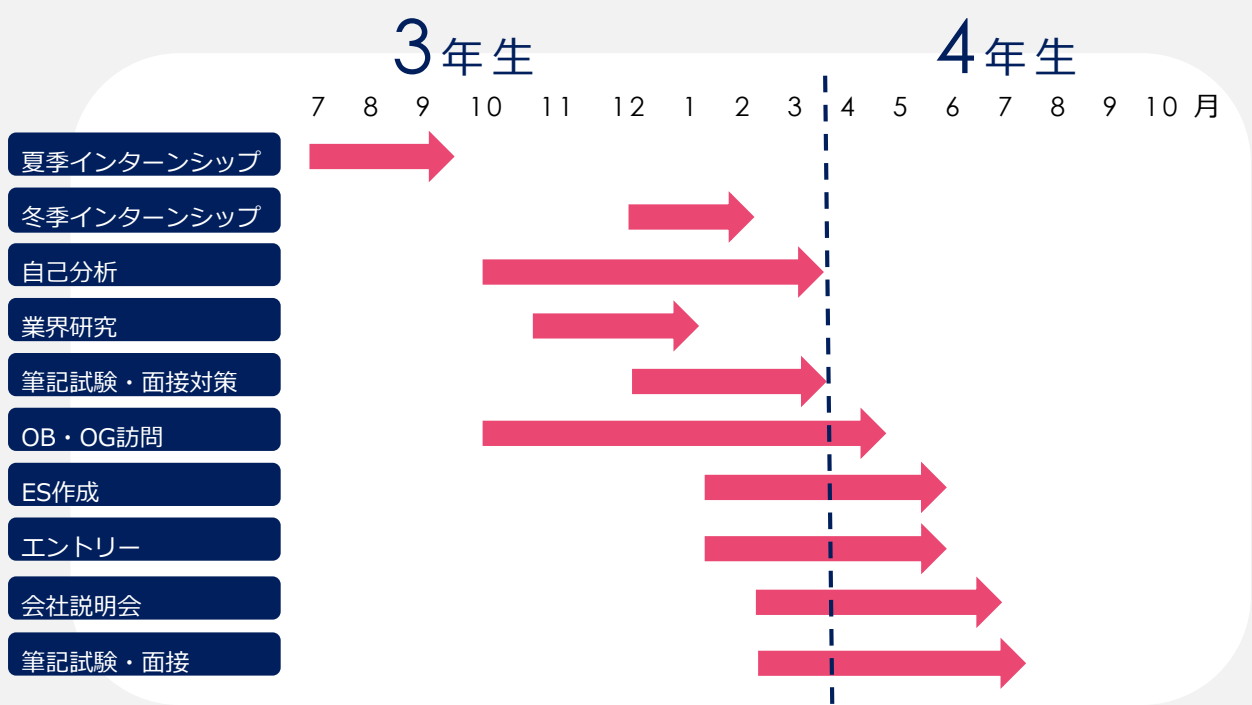
自分の個性タイプの特徴を踏まえ、自分に合った就活スケジュールを計画することでスムーズに就職活動を進められるようにしましょう。



解決・直感タイプの就活スケジュールの傾向

以下は、セプテーニグループの選考に参加したあなたと同じ個性タイプの人から取得したアンケートをもとに就活スケジュールの傾向を出したものです。

就活スケジュールの計画をたてる上でも、一つの指標としてもらえればと思います。



このタイプの就活スケジュールとして、  
以下のような個性の特徴がみられました。

- ① 志望企業へのエントリーや会社説明会への参加は、自分に合っていそうだと思ったところ、周りが知っている企業を中心にみて、どこか一つには受かりたいという思いから多数の業界へエントリーする傾向があります。
- ② 志望度の高い企業へのエントリーシートの提出や面接があるときには、キャリアセンターや先輩など事前に添削や練習を行ってもらい、安心した上で本番に臨む人が多いです。
- ③ 業界や会社選びをするときに、社員の様子や働き方、会社の雰囲気が決め手となる傾向があります。そのため、業界研究はじっくり採用サイトを見比べるというよりはインターンシップやOB・OG訪問、会社説明会に参加し、実際に自分で経験する中で業界・会社理解を深めていくことが効果的でしょう。

※ 当社独自の理論にもとづいた見解であり、エントリーシートの通過や就職活動の成功を約束するものではありません

【解決・直感タイプ向け】

## コミュニティ分析

ここまでワークシートに取り組む中で、自己分析を深めていくことができてきたのではないのでしょうか？

次は自分の個性の特徴を認識した上で、学生時代に所属していたコミュニティにはどんな個性を持った人が集まっていたのか考えてみましょう。

Chapter

4



# コミュニティ分析

## 01 あなたのコミュニティはどんな個性タイプ？

今まで所属していたコミュニティにはおそらく様々な個性を持った人が集まっていたはずです。同じ部活やサークルの中でも、仲が良く、気が合う友人が多いグループには似た個性を持つ人が集まっていることが多いでしょう。委員会やゼミといった役割を持って活動していたコミュニティでは、自分とは異なる個性タイプの人が多く存在し、衝突することもあったのではないのでしょうか。

話し合いや何か物事を決めるときに、自分と意見が合う、考え方が似ていると感じる人はあなたと同じ個性タイプである、解決・直観タイプの人と言えます。

反対に、自分とは異なる視点で物事を考えたり、時には対立をしてしまうような人はあなたと真逆の個性タイプである、創造・論理タイプの人の可能性が高いでしょう。

実は、個性タイプごとに就職活動の行動パターン、効果的に準備を進める方法も違ってきます。今いるコミュニティを分析することで、自分の周りにはどんな個性タイプの人がいるのかわかるでしょう。

ぜひ、周りの人とも自分の個性タイプの特徴、就活スケジュールを共有してみましょう。

## 02 自己分析をさらに深めていくために

自己分析をさらに深めていくために、改めて自分が作成した自己分析や自己PRの文章を振り返って見てみてください。

「なぜその活動を頑張れたのか」「自分がどんな役割で動いていたのか」「取り組んだ課題が上手くいかなかった理由」など、自分の個性を意識して書いた文章を、そのエピソードに選んだコミュニティの友人やあなたのことをよく知っている人に見てもらうことで客観的な意見を得ることができるでしょう。

コミュニティを分析してみて、同じタイプだと感じた友人、就職活動を経験している先輩に見てもらうのも良いかもしれません。

その結果、自分の書いたエピソードがより納得のいくものになり、エントリーシートや面接の場でも自信を持ってアピールしていくことができるでしょう。



## 03 短期的な成果・長期的な成果が出やすいコミュニティの特徴

仕事をする中で、実はそのプロジェクトの期間の長さによって成果が出やすいコミュニティの特徴があります。

これは、皆さんが学生時代に所属していたコミュニティ、就職活動で行うインターンシップやグループワークにおいても当てはまるが出てくるでしょう。

### Ⅰ 短期的な成果が出やすいコミュニティ

短期的・限定的な目標達成する際に向いているのは、自分と同じ個性タイプが集まっているコミュニティです。

同じ個性タイプのコミュニティの特徴としては、考えることや行動のパターンが似ているため目標を実現するための意思決定が速く、同じ成功パターンで活動ができます。

そのため、スピード感を持って成果を出すことができるでしょう。

### Ⅱ 長期的な成果が出やすいコミュニティ

反対に、長期的・複雑な課題に取り組んで目標達成する際に向いているのは、自分と異なる個性タイプが集まっているコミュニティです。

考え方や行動パターンが異なるため、時には対立することもあると考えられますが、お互いが自分の得意分野、不得意分野を認識して役割分担を明確にすることで、対等に議論をして課題解決をしていくことができます。

## 今後のサービスについて

私たちの提供する自己分析ツールはこれで終わりではありません。  
今後も皆さん一人ひとりが活躍できるようなキャリアを掴むための就活のサポートをしていければと考えています。

Chapter

5

## 今後のサービスについて

今回の自己分析ツールはいかがでしたでしょうか？

皆さんには、自分の個性を認識した上で、自分の納得する環境を見つけてもらいたいと思い、短時間で効果的に自己分析を行うことができるこの自己分析ツールをご用意しました。これから就職活動に臨む中で、セプテーニグループでは、今後も皆さんのキャリア形成をサポートしていきたいと考えています。インターンシップ、エントリーシート、面接、グループワークなど一般的な就職活動の選考のタイミングに沿って、皆さんの個性タイプに合わせた対策や効果的な手法を記載してメールを送らせていただきますので就職活動だけでなく、今後のキャリアを考える上で、参考にしていただければと思います。

また、今回の自己理解ツールVol.2を読んでいただいた後にお答えいただきたい**アンケートをマイページに表示しております。**

ぜひアンケートにご協力をお願いいたします。

**今後のサービスを受けるためには回答が必須**となりますので、できるだけお早めにご回答いただけますと幸いです。



※Vol.5の配信時期に関しては別途ご案内致します。

[アンケートの回答はこちら](#)

[自己分析ツールWEBサイトはこちら](#)